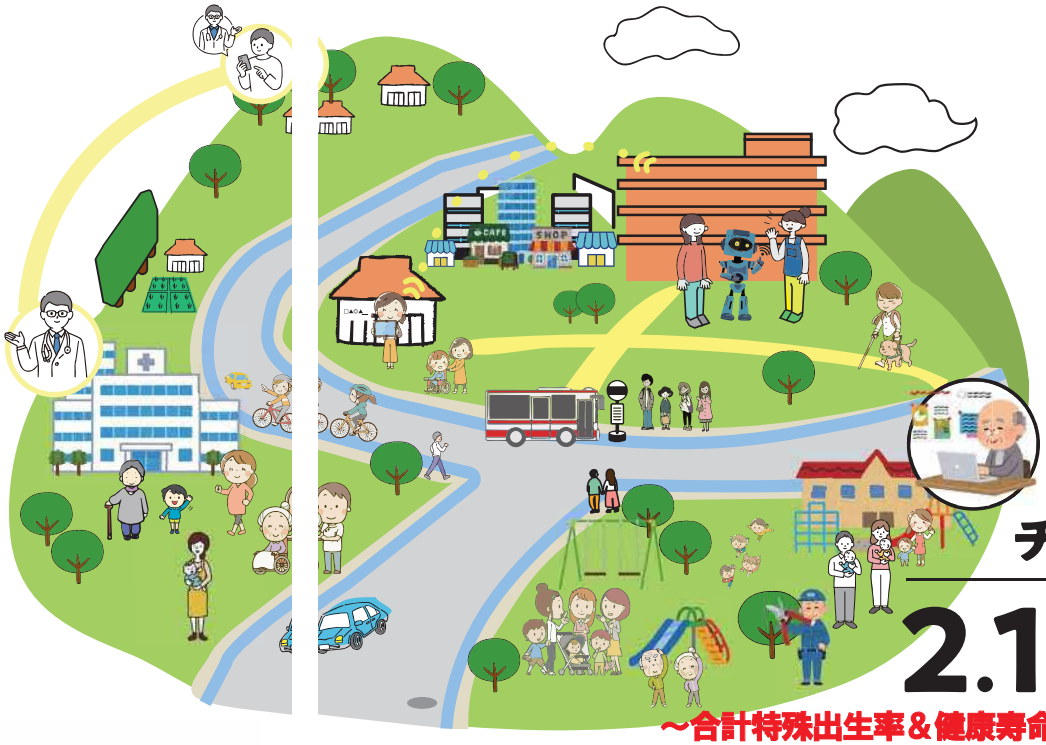
出雲力で

ともに支える

生活基盤を整え日々の暮らしを支える



2030年の出雲の姿

出雲力で、生活基盤・環境が整い、市民一人ひとりの生活の質を高めています。

子育て環境や保健・医療・介護・福祉サービスが充実し、一人ひとりの人権と多様性を尊重しながら、個々のニーズに応じた支援が行われ、子どもから大人までたくさんの笑顔であふれています。

道路や上下水道、公共施設などの社会インフラの整備や地域公共交通などの生活基盤が整い、誰もが快適に暮らしています。

あらゆる場面でデジタル技術が活用されており、誰もが日常的に利用しています。

チャレンジ

2.1 & 1年

～合計特殊出生率＆健康寿命延伸（8年後）～

子どもを生み育てやすい環境を整え、乳幼児期から高齢期まで住みやすいまちづくりに向けて、合計特殊出生率（1人の女性が産む子どもの平均数）上昇と健康寿命（65 歳平均自立期間（※））延伸をめざします。

「出雲市まち・ひと・しごと創生第 2 期総合戦略」の人口ビジョンにおける、本市がめざす 2030 年の合計特殊出生率は、2.1 です。（2020 年の合計特殊出生率 1.72）

また、人生 100 年時代を迎える中で、健康づくり・介護予防に取り組める環境を整備するとともに、何歳になっても、役割、生きがいを持って地域や社会に関われるよう、様々な社会参加を促し、予防・健康づくりを進め、8 年後には健康寿命が 1 年延伸することをめざします。（本市の 2011 年（H23）~2015 年（H27）の 65 歳平均自立期間の平均値　男性：17.54 年　女性：21.00 年）

なお、2019 年に策定された国の「健康寿命延伸プラン」において、国は 2040 年までに健康寿命を 3 年以上延伸（2016 年比）することをめざしています。

※６５歳平均自立期間：65 歳以降、日常的に介護（要介護度２以上）を必要としないで、自立して生活ができる期間のこと。島根県も同じ指標を使用。

13「産みたい」「育てたい」を応援 ★

基本方策

ともに支える　ともに育む　ともに楽しむ

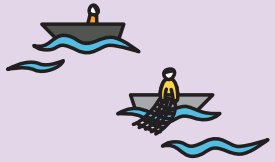
SDGs

子育てしやすい環境をつくる

- あらゆる子育て世帯をサポートするため、仕事と子育てが両立しやすい環境づくりや、経済的負担の軽減、孤立感の緩和、外国籍保護者へのサポート、親子のきずなづくりなど、安心して楽しく子育てができる環境を整えます。
- 子どもを望む夫婦が不妊・不育症治療を受けやすい環境を整備します。

子ども・若者を地域で育て、見守る

- 地域における見守り活動や、体験・交流活動の充実に向けた支援に努めます。
- 関係機関の連携により、不登校、ひきこもり、ヤングケアラー（日常的に家族のケアをする子ども）などの困難を抱える子ども・若者の支援の充実を図ります。



photo

photo

14 ワーク・ライフ・バランスで自分らしい生き方を ★

基本方策

ともに創る　ともに支える　ともに育む

SDGs

- 事業所（働く場）でのワーク・ライフ・バランスの推進やディーセントワーク（働きがいのある人間らしい仕事）の実現に向けた啓発を行います。
- 市民が性別にかかわりなく個性と能力を十分に発揮できる男女共同参画のまちづくりを進めます。

photo

15 いつまでも元気、ずっと現役で ★

基本方策

ともに創る　ともに支える　ともに育む　ともに楽しむ

SDGs

生涯現役の社会をつくる

高齢者が能力や経験を生かして就業したり、地域を支える活動の担い手として活躍できるように、様々な社会参加を促し、一人ひとりが役割や生きがいを持って暮らすことのできる社会づくりを進めます。

健康管理をし、健康寿命を延ばす

健康診査やがん検診の受診勧奨により、自己管理を支援し、疾病の早期発見、早期治療につなげます。

「食」から豊かな人生を

市民が主体的に食に関心を持ち食育を実践できるよう、関係団体と協働して、食に関する取組を展開します。

photo

16 誰もが大切にされる社会をめざして ★

基本方策

ともに創る　ともに守る　ともに結ぶ　ともに支える　ともに育む　ともに楽しむ

SDGs

多様な価値観を認め、人権意識を高める

- 市民一人ひとりが人権の意義や重要性を理解し、相手の立場に立って行動できるよう幼児から高齢者まで、生涯を通じた人権教育・啓発を推進し、同和問題をはじめとする全ての差別解消に努めます。
- 国籍、性別、性的指向、性自認、年齢、障がいの有無などに関わらず、一人ひとりの個性、価値観などが大切にされ、共に生き、支え合う地域社会の実現をめざします。
- DV（ドメスティック・バイオレンス）は、犯罪となる行為をも含む重大な人権侵害であり、その予防と被害からの回復のための取組を推進し、暴力の根絶をめざします。

※「出雲市まち・ひと・しごと創生第2期総合戦略」記載の取組には、「★印」をつけています。

多様性を認めあい、みんなでつくる ～多文化共生～

国籍や言語、文化、価値観の多様化が進む中で、日本人住民と外国人住民が、相互にコミュニケーションを促進し、お互いを認め合い、多様性を生かしながら、安心して暮らせるまちづくりをみんなで進めます。

多様性を認める社会の実現 ～ソーシャルインクルージョン～

- ○建築物、道路、公園のバリアフリー化の促進や啓発により、障がい者や高齢者をはじめ全ての人が安心して快適に暮らし、社会参加することができるまちづくりを推進します。
- ○全ての人が「障がい」への理解を深め、障がいのある人もない人も、共に生き、支え合う地域社会の実現をめざし、啓発活動を推進します。

photo

photo

photo

17 ぬくもりのある福祉サービスを

基本方策：ともに守る　ともに支える　ともに育む　ともに楽しむ

SDGs

誰もが自分らしく活躍できる社会を　～地域共生社会～

複雑化、複合化する福祉ニーズに対応できる総合相談体制の強化や、地域住民や関係団体等との連携・協働により、誰もが役割と生きがいを持ち、自分らしく活躍できる地域共生社会の実現をめざします。

障がい者の自立と社会参加を支える

障がい者等が自らの意思決定にもとづき、地域の構成員として暮らし続けられるよう、福祉サービス等の提供体制や地域の支援体制を整備します。

高齢者の暮らしを支える

- ○高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるよう、医療・介護関係者の連携を深め、地域包括ケアを推進します。
- ○健康づくり、介護予防、交流の場の立ち上げを支援するとともに、参加を促します。
- ○認知症への理解を深め、認知症の人やその家族への見守り、支援につなげます。
- ○身近なつながりの中で、高齢者の困りごとを手伝う、支え合いの体制づくりを進めます。
- ○高齢者が必要な介護サービスを受けられるよう、介護サービス基盤の整備を進めるとともに、ICTやロボットなどの最新技術の活用を推進し、介護人材不足の解消に努め、サービス提供体制の維持を図ります。

photo

photo

18 地域特性を生かして安心な医療を

基本方策：ともに守る　ともに支える

SDGs

質の高い効率的な医療の提供

- 出雲医療圏において医療機関の機能分化・連携強化を推進するとともに、持続可能な質の高い効率的な医療提供体制の充実に取り組みます。
- 総合医療センターにおいては、引き続き、救急医療や予防医療を提供するとともに、高度急性期病院の後方支援や在宅医療を推進します。
- 市立診療所においては、関係機関との連携のもと、医療過疎地での医療や休日・平日夜間における初期救急医療の提供体制を確保し、市民が適切な医療を受けることができるよう安定的に運営します。

photo

19 地域とともに持続可能な中山間地域を ★

基本方策：ともに創る　ともに守る　ともに結ぶ　ともに支える　ともに育む　ともに楽しむ

SDGs

中山間地域に新たな風を

うみ・やま（中山間地域）応援センターの4つの支部に地域支援員を配置し、地域おこし協力隊員とともに、中山間地域の支援及び活性化を図ります。また、様々な地域課題の解決に向け、地域のサポート体制を強化します。

中山間地域のポテンシャルを生かす

自然豊かな中山間地域の魅力を生かした企業立地の支援や、キャンプやグランピングなどのアウトドア、滞在型観光施設など、中山間地域の持つポテンシャルを生かしたツアー造成などで、交流人口を増やし、地域の活性化を図ります。

安心して住み続けられる中山間地域を

- 地域農業を支える担い手の確保・育成や、課題解決に向けた自発的な取組の支援により、中山間地域活性化を図り、地域コミュニティの維持につなげます。
- 有害鳥獣対策による農地等の被害防止、市道の防草対策と支障木の伐採による通行の安全性向上に努めます。

photo

20 出雲のインフラを整え「安心」を支える

基本方策：ともに守る　ともに結ぶ　ともに支える　ともに育む

SDGs

地域の「かわ・みち」づくりで生活を豊かに

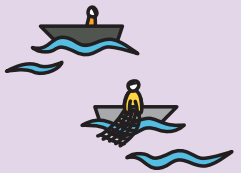
- 利便性の向上に向けて国道及び県道の整備を国及び県に強く要望するほか、市道及び生活道路の整備を進め、安全で利便性の高い幹線道路網の構築と生活環境の改善を図ります。
- 橋梁、トンネル等の長寿命化を図るため、計画的な予防保全を進めます。
- 重要な生活基盤である排水路について、計画的に改良整備を実施するとともに、地域間の整備水準の均衡を図り、快適な生活環境づくりを推進します。
- 通行者の安全確保のため、歩道整備など地域生活の安全対策に努めます。

住まいを整える

公営住宅等の計画的な大規模修繕・建替事業により、住生活の「質」の向上を図るとともに、市民ニーズに応じた整備により、市民が安心して暮らせるセーフティーネット住宅の提供に努めます。

上下水道で快適な生活を支える

- 新規水源の開発、耐震化などによる、災害に強い強靭な施設を構築し、安全で安心な水の安定供給を図ります。
- 汚水処理の未普及解消に向け、公共下水道事業及び合併処理浄化槽の効率的かつ計画的な整備を進めるとともに、施設の長寿命化を図ります。



※「出雲市まち・ひと・しごと創生第2期総合戦略」記載の取組には、「★印」をつけています。

利便性と癒しの都市空間を

- ○市の中心部にある老朽化や用途廃止した公共施設等について、機能の集約化、再配置及び整備を行い、市民の利便性の向上を図ります。
- ○老朽化した平田及び斐川行政センターについては、地域における行政サービスの拠点として、また災害時における災害対応の拠点として整備します。
- ○幹線街路を計画的に整備し、中心市街地の整備を進めます。また、出雲市駅付近連続立体交差事業(第二期区間)の実現に向けた取組を実施します。
- ○公園・緑地が持つ多くの機能を十分に発揮でき、安心して利用できるよう、適切な維持管理及び再整備、修繕に努めます。
- ○地籍調査事業について、国・関係団体等の各種事業を積極的に活用し、一層の地域連携を図りながら事業を着実に推進します。

みんなのための地域内交通

- ○活力ある地域づくりのため、バス路線の維持を含め、持続可能な新たな交通システムの構築に努めます。
- ○貴重な生活路線であり観光振興の要となる一畑電車は、事業者の更なる経営努力と国・県・沿線市の適切な支援により、路線の維持・充実に努めます。

グリーンステップC谷を生かす

斐伊川放水路事業残土処理場(グリーンステップC谷)の整備について、地域の発展や定住につながる利活用の整備方針を示すとともに、周辺の整備も進めます。

出雲らしい景観を守りぬく

- ○地域の景観要素を生かしながら、道路、公園や建築物など都市施設の景観整備を推進します。
- ○大規模な建築物・工作物の建設などに対し、ゆるやかな規制・誘導を図り、市民・事業者の協力を得ながら、良好な景観を形成していきます。
- ○出雲地域独自の自然・歴史的景観資源である築地松について、県とともに保全、PRに努めます。

21 デジタルの力で未来をデザイン

基本方策

ともに創る　ともに守る　ともに結ぶ　ともに支える　ともに育む　ともに楽しむ

SDGs

市民サービスのデジタルファースト

- ○年齢、性別、国籍、居住する地域等に関わらず、市民が自身にとって最適なサービスを、簡単に利用できるようにします。
- ○サービスデザイン思考を取り入れた施策立案を行い、市役所の業務改革を進め、迅速で効率的な行政運営を実現します。

まちづくりのデジタルファースト

防災、福祉・医療、都市形成・交通、教育等のあらゆる分野でデジタル技術を効果的に活用することで利便性を高め、市民がいきいきと暮らすことのできるまちを実現します。

産業・観光のデジタルファースト

- ○規模や業種を問わず、デジタル技術を活用して柔軟な働き方や生産性の向上に取り組む事業者を増やします。
- ○行政・民間ともに、市民本位・顧客本位の発想のもと、デジタル技術とマーケティングの手法を効果的に活用し、定住人口、交流人口、関係人口の増加をめざします。

ともにデジタルファースト

- ○官民が共通の目標を持ち、互いの強みを生かしながら地域課題の解決と価値創造を促進し、デジタルを活用した出雲発のイノベーション創出を図ります。
- ○市民、事業者及び行政が、デジタル化に対する意識を高め、ともにデジタルファーストを牽引できる人材の育成を推進します。
- ○デジタル技術に不慣れな人にも寄り添いながら、人にやさしいデジタル化に努めます。

出雲力で

ともに育む

次世代を担う子どもたちや地域を支える人を守り育てる

2030年の出雲の姿

出雲力で、次世代を担う子どもたちや、地域を支える人材が育ち、あらゆる分野で出雲を支えています。

学校・家庭・地域で子どもたちが大切に育てられ、子どもたちが自らの力で未来を切り拓こうと、夢の実現に向かってチャレンジしています。

困難を抱える子どもたちに対して、一人ひとりのニーズにあわせて適切な教育が行われています。

市民活動やまちづくり活動が盛んで、良好な地域コミュニティが維持されています。

チャレンジ

85%

～高校生が「出雲に愛着や、魅力・誇りを感じる」と答えた割合（8年後）～

令和３年度に行った高校３年生を対象としたアンケート調査によれば、「出雲に愛着や魅力・誇りを感じる」は、「ある程度感じる」も含め、81.1％に達しました。これは、出雲で育まれた、地域、学校、市民の関わりの成果であり、出雲に愛着や魅力・誇りを持つ若者を育むことは、定住意向にもつながります。
子どもたちが高校生までの成長過程において、ふるさとに貢献したいと思えるふるさと教育を進め、８年後には 85％をめざします。

22 家庭・地域・学校で育む出雲の教育を ★

基本方策　ともに支える　ともに育む　ともに楽しむ

SDGs

質の高い教育で学力アップ

教員の研修会の開催や学校訪問指導などで「質の高い授業への改善」を図り、児童生徒の「主体的・対話的で深い学び」を実現して、学力向上を図ります。

ICT機器の活用で新たな学びのスタイルを

「いずもGIGAスクールプラン」に基づき、児童生徒1人1台のタブレット型パソコンや大型モニターなどのICT機器を効果的に活用しながら、児童生徒の情報活用能力の育成を図ります。

学びを広げ深める学校図書館へ

各学校での読書活動の推進と授業での調べ学習などで、効果的に学校図書館を活用して、児童生徒の読解力・思考力・表現力等を養い、豊かな心を育みます。

ふるさとへの愛を育む

地域の自然、歴史、文化、伝統行事を通した、ふるさと教育を充実し、出雲をふるさととして誇りと愛着を持ち、夢や目標を自らの力で実現しようとする子どもを育てます。

家庭・地域と学校が手をつなぐ

地域の教育資源や地域住民の思いを生かした教育課程を編成するなど、家庭・地域と学校が連携・協働し、地域全体で子どもたちの「生きる力」を育みます。

出雲ならではの学び体験を

出雲科学館を活用した理科学習や、総合的な学習の時間をはじめとした体験学習の充実を図り、創造性豊かな人材の育成をめざします。

子どもの育ちをなめらかにつなぐ

幼稚園・保育所から小学校、小学校から中学校への進学時の教育の接続を円滑に行うとともに、子どもや保護者の不安や戸惑いを軽減するために、計画的に保幼小中の連携を支援します。

一人ひとりの子どもの成長を支える

○幼児・児童生徒の支援の多様化に対応するため、関係機関と連携し、継続して切れ目のない支援を行うことで、一人ひとりを大切にする特別支援教育の充実を図ります。

○不登校・いじめ・問題行動等の解決も、小・中学校の喫緊の課題となっており、未然防止はもとより、早期に発見し組織的に対応するとともに、教育支援センター等での支援体制の充実・強化を図ります。

日本語指導で広がる子どもの希望

日本語指導が必要な帰国・外国籍の子どもたちに、日本語の確実な習得等ができるように支援するとともに、将来の目標や夢を持つことができるようキャリア教育の実施などの支援を行います。

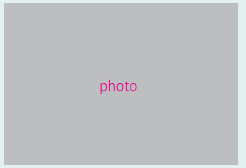
安全・安心でおいしい学校給食を

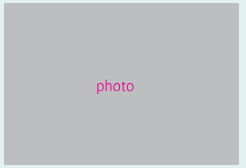
学校給食に地元産食材を積極的に使用することにより、安全・安心な給食を提供し、地域への愛着や生産に携わる方々への感謝の心を育み、子どもたちの健全な心身の育成を図ります。

学びの場を整える

○学校施設の耐震化を早期に完了するとともに、学校再編による新設校や今後必要となる教室数を確保するための整備に取り組みます。

○老朽化の著しい施設は長寿命化改修することを基本とし、学校規模に対し狭隘なものは改築を進め、学びに集中できる教育環境の整備を行います。





※「出雲市まち・ひと・しごと創生第2期総合戦略」記載の取組には、「★印」をつけています。

23 人が地域を、地域が人を育てる ★

基本方策　ともに結ぶ　ともに支える　ともに育む　ともに楽しむ

SDGs

市民協働の力が地域課題を解決

市と市民団体の連携のもと、地域の抱える課題について考え、創意工夫する自主的・主体的な市民活動を促進するため、市民団体が行う活動に関する情報提供や支援を行います。

多様な学びを地域で生かす

地域に関心を持ち、地域課題の解決に向けた役割を果たす「人づくり」を進めるとともに、子どもの育ちを核とした、多様な他者と連携・協働する「つながりづくり」を進め、市民の多様な学び・活動を「地域づくり」へつなげます。

NPO法人等の力を伸ばす

NPO法人等の活動の多様性や自主性を尊重し、特定非営利活動の健全な発展を促進するとともに、意見交換会も含めたネットワークづくりや相談業務などの支援を行います。

ボランティア活動のススメ

- ボランティア意識の啓発・普及に努め、ボランティアに関する情報の収集や紹介、人材育成、相談業務の拡充に努めます。
- 総合ボランティアセンターなどで、ボランティア団体の活動を支援するとともに、ボランティアのネットワークの拡大や災害時に対応できるボランティアの啓発や推進に取り組みます。

自治会加入で暮らしに安心を

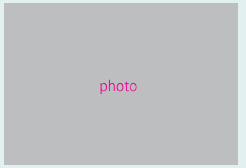
自治協会等の自治会加入促進の取組や、地域課題解決に向けた取組に対し、支援を行います。

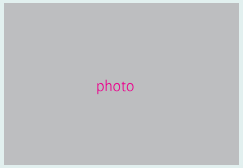
"コミセン"が43のふるさとを支える

- 市内43コミュニティセンターは、地域に一番密着した市の施設として、住民主体のまちづくり事業を支援します。
- 市民協働活動及び地域防災の拠点であるコミュニティセンターのデジタル化を推進し、一層の連携強化を図ります。

高等教育機関との連携で地域課題を解決

- 高等教育機関等との連携協定により、人材育成、産業振興、保健・医療・福祉の向上など多様な分野で連携・協力を進めます。
- 魅力ある地域づくりへの学生の参画を進めるなど、地域の未来を担う人材の育成に努めます。





※「出雲市まち・ひと・しごと創生第2期総合戦略」記載の取組には、「★印」をつけています。